

図形と方程式③

年	組	番	名前
2019	1	1	山田 太郎
2019	1	2	山田 次郎
2019	1	3	山田 三郎
2019	1	4	山田 四郎
2019	1	5	山田 五郎
2019	1	6	山田 六郎
2019	1	7	山田 七郎
2019	1	8	山田 八郎
2019	1	9	山田 九郎
2019	1	10	山田 十郎
2019	1	11	山田 十一郎
2019	1	12	山田 十二郎
2019	1	13	山田 十三郎
2019	1	14	山田 十四郎
2019	1	15	山田 十五郎
2019	1	16	山田 十六郎
2019	1	17	山田 十七郎
2019	1	18	山田 十八郎
2019	1	19	山田 十九郎
2019	1	20	山田 二十郎
2019	1	21	山田 二十一郎
2019	1	22	山田 二十二郎
2019	1	23	山田 二十三郎
2019	1	24	山田 二十四郎
2019	1	25	山田 二十五郎
2019	1	26	山田 二十六郎
2019	1	27	山田 二十七郎
2019	1	28	山田 二十八郎
2019	1	29	山田 二十九郎
2019	1	30	山田 三十郎
2019	1	31	山田 三十一郎
2019	1	32	山田 三十二郎
2019	1	33	山田 三十三郎
2019	1	34	山田 三十四郎
2019	1	35	山田 三十五郎
2019	1	36	山田 三十六郎
2019	1	37	山田 三十七郎
2019	1	38	山田 三十八郎
2019	1	39	山田 三十九郎
2019	1	40	山田 四十郎
2019	1	41	山田 四十一郎
2019	1	42	山田 四十二郎
2019	1	43	山田 四十三郎
2019	1	44	山田 四十四郎
2019	1	45	山田 四十五郎
2019	1	46	山田 四十六郎
2019	1	47	山田 四十七郎
2019	1	48	山田 四十八郎
2019	1	49	山田 四十九郎
2019	1	50	山田 五十郎
2019	1	51	山田 五十一郎
2019	1	52	山田 五十二郎
2019	1	53	山田 五十三郎
2019	1	54	山田 五十四郎
2019	1	55	山田 五十五郎
2019	1	56	山田 五十六郎
2019	1	57	山田 五十七郎
2019	1	58	山田 五十八郎
2019	1	59	山田 五十九郎
2019	1	60	山田 六十郎
2019	1	61	山田 六十一郎
2019	1	62	山田 六十二郎
2019	1	63	山田 六十三郎
2019	1	64	山田 六十四郎
2019	1	65	山田 六十五郎
2019	1	66	山田 六十六郎
2019	1	67	山田 六十七郎
2019	1	68	山田 六十八郎
2019	1	69	山田 六十九郎
2019	1	70	山田 七十郎
2019	1	71	山田 七十一郎
2019	1	72	山田 七十二郎
2019	1	73	山田 七十三郎
2019	1	74	山田 七十四郎
2019	1	75	山田 七十五郎
2019	1	76	山田 七十六郎
2019	1	77	山田 七十七郎
2019	1	78	山田 七十八郎
2019	1	79	山田 七十九郎
2019	1	80	山田 八十郎
2019	1	81	山田 八十一郎
2019	1	82	山田 八十二郎
2019	1	83	山田 八十三郎
2019	1	84	山田 八十四郎
2019	1	85	山田 八十五郎
2019	1	86	山田 八十六郎
2019	1	87	山田 八十七郎
2019	1	88	山田 八十八郎
2019	1	89	山田 八十九郎
2019	1	90	山田 九十郎
2019	1	91	山田 九十一郎
2019	1	92	山田 九十二郎
2019	1	93	山田 九十三郎

39

座標平面で $x-y+1\geq 0$, $3x+y-9\leq 0$, $x+2y-3\geq 0$ を満たす点 (x, y) の存在する領域を D とし、点 $P(x, y)$ は領域 D を動くものとする。

(1) 領域 D は 3 点 $\left(\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}, \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}} \right), (\boxed{\text{オ}}, \boxed{\text{カ}}), (\boxed{\text{キ}}, \boxed{\text{ク}})$ を頂点

とする三角形の周および内部である。ただし、 $\boxed{\text{オ}} < \boxed{\text{キ}}$ である。

(2) $x+3y$ の最大値は ケコ，最小値は サ である。

また、 $ax+y$ が $x = \boxed{\text{オ}}$ 、 $y = \boxed{\text{カ}}$ において最大値をとるような a の値の範囲は

$\boxed{\text{シス}} \leq a \leq \boxed{\text{セ}}$ である。

(3) $x^2 + y^2$ の最大値は ソタ，最小値は $\frac{\text{チ}}{\text{ツ}}$ である。

[illegible]